

令和5年度 氷見市教育総合センターだより 第2報

第1回ICT教育推進プロジェクト会議

5月30日（火）

指導助言：富山大学大学院教職実践開発研究科 教授 長谷川 春生 先生

氷見市のICT教育における目指すべき方向性や方策等について、幅広く意見交換や情報共有を行うため、関係者が一堂に会して、第1回ICT教育推進プロジェクト会議を開催しました。

会議では、昨年度の取組を振り返った後、今年度のICT教育推進委員会の活動計画、ICT環境整備についての説明がありました。教育ソフト関連企業からは、子供の学びを止めないためのサポートや端末の修理状況、導入済みのソフトや機器の活用の仕方等の説明がありました。その後、各校のICT教育推進委員がグループに分かれ、今年度の研修計画等について情報交換を行いました。全体での意見交換では、教員個人の能力差や指導頻度の差を埋めることが課題であること、推進委員がリーダーとなって活用に取り組んでほしいこと等のご意見をいただきました。



長谷川先生からは、ICT活用の方向性として、特に以下の点について教えていただきました。

- これからの時代を生きる子供たちの学びの在り方を考える上で、受け身・指示待ちでなく、自分から課題を見付けて自分から学んでいかなければいけないが、子供たちの主体的な学びを考えながらも、基本的な学習規律は重要であり、端末の活用の仕方をしっかりと指導する場面が必要である。
- 子供たちがそれぞれのテーマを決め、調べ学習を進める際、端末を活用して一人で調べている子供もいれば、ペアで調べている子供、グループで調べている子供がいる。それが自然にできている学級は、うまく機能しているといえる。
- 教師が作成するワークシートは、子供たちの学びをより深く確実なものにするために必要である。基礎・基本を習得させるための指導を行い、自主的に課題を設定し、それを様々な方法で解決していく力を身に付けさせる必要がある。

今年度も学校ごとの活用推進計画の実践を中心に、更なるICT活用に取り組んでいきます。

第1回幼保小接続研修会

6月2日（金）

テーマ「授業を基に子供の姿で学ぶ幼保小接続」

講師：山梨県立大学 教授 阿部 美穂子 先生

幼保小接続研修会は、子育て支援課と共に開催している研修会です。今年度は、比美乃江小学校の1年生の授業を参観し、子供の姿を基にワークショップ形式で話し合いました。



<1年生の授業参観>

- ・本日のような情報交換の場で、幼保小が、共に問題解決を図りながら、互いの取組から学んでいくことが大切である。今後は、気軽に情報交換できる場を設定していくことが望まれる。
- ・子供の生活の有り様について、「どう育てていきたいのか」「どんな意味があるのか」を明確にして時間や場を設定するとよい。
- ・個々の子供が参加しやすい手立てを考える。授業の中で、たくさんの「自分ができる」を育てていく。人と同じようにできることではなく、それぞれの子供にとっての「できる」を積み重ねていく。
- ・子供が臍に落ちなければ、学んだことにはならない。本当に子供に分かるように伝えているか、教えたつもりになっていないかなど、自分自身の投げかけ方を振り返ってほしい。



<ワークショップの様子>

講師の阿部先生は、キーワードを使って分かりやすくまとめてくださいました。

入学して間もないこの時期に、授業を参観して、子供の姿で具体的に話し合うことができました。比美乃江小学校のご理解とご協力に感謝申し上げます。

調査研究事業「ICT教育推進委員会」

本委員会は、「各校でICT活用推進計画に基づいた取組を進めると同時に、ICTを活用した授業、プログラミング教育の推進に向けた実践的な研究を行う」という目的の下、活動を行っています。今年度の氷見市の目標は、次のとおりです。

【全校共通】…推進委員が中心となって各校の実態に応じた「ICT活用推進計画」を作成し、着実に実践を進める。

【小学校】…「情報活用能力（プログラミング教育を含む）の育成に係る基本カリキュラムと総合的な学習の時間等を活用したカリキュラム」から、担当する学年の内容のいずれかを実践する。

【中学校】…全ての教員が、電子黒板とタブレットPCを使った授業をできるようにする。また、推進委員が中心となって、効果的なICTの活用方法を考える。



今後、推進委員が各校のリーダーとなって、着実に実践を進めていきます。ICTの積極的な活用、研修会への参加等に、ご協力をお願いします。

調査研究事業「ふるさと教育推進委員会」

「地域に学び、氷見を愛する心を育てるふるさと教育の推進」は、教育総合センターの運営の重点です。

今年度は、4年ぶりに教育資料「ふるさと氷見」の改訂（第三訂）を行います。内容を見直し、新しいデータを盛り込んだり、投げかけ文を工夫したり、QRコードで画像とつなげたりするなど、より親しみやすくしていきます。

子供たちが、ふるさと氷見について考え、地域のよさを発信できるよう、ふるさと教育の推進に努めてまいります。

<齋藤 弥九郎>



<イタセンバラ>

第1回 学力向上研修会

5月18日（木）

講師：金沢学院大学教育学部 教授 多田 孝志 先生

昨年度より、富山県教育委員会から研究委託を受け、「令和のとやま型教育推進事業」に取り組んでいます。氷見市の研究課題「主体的・対話的に学びを深める児童生徒の育成」に向けて、児童生徒が意欲的に学習に取り組む学級づくり、授業づくりについての研修会を行いました。



前半、多田先生は、世界と比較した日本の教育の現状から、21世紀に対応して生きていく子供たちへの教育指導の在り方について、教師の意識を変える必要があることを強調されました。

後半は、多田先生の問いに対して、グループ内で参加者が意見を発表し合う場面が、繰り返し仕組みられました。参加者に気付きや考えを紙面に書かせた上で、グループ内や他のグループの考え等を互いに見合う場を意図的に設けることで、自分の考えを広げ、深める手立てを示されました。

「ダンゴムシの飼育・観察」の例からは、学びの原点として「気付き」や「体験」が重要であること、「ゴリラと人間の身体感覚の違い」の例からは、ペア同士やグループ内で握手等の交流する体験によって、子供に安心感をもたせる必要があることを具体的に説明されました。

対話型授業を行うには、集団の雰囲気づくりが最も重要であるとして、「考えのずれや違いを認め合う」「思いつきを大切に」「よいことを言ったら褒めてあげる」「みんなですると、『できた・解決した』ということを自覚させる」などの教師の姿勢が求められていると述べられました。

<参加者の声>

- 学び、思考の原点は、「気付き」であると知りました。体験を通じた「気付き」や「身体感覚」は、子供たちの学びへの基盤形成には重要だと思いました。
- 対話の大切さを学ぶことができました。よりよい対話となるよう、普段から温かい雰囲気の学級づくりに努めたいと思いました。
- 子供の感性や興味・関心を教師が学ぶ意欲へと成長させていくことが大切だと感じました。子供たちのもつ可能性を広げていきたいと思いました。

令和5年度の小中連携教育 ～9年間の学びをつなぐ、支援をつなぐ～

氷見市では、今年度も「9年間の学びをつなぐ・支援をつなぐ」を基盤として、以下の4項目に重点を置きながら、学びの連続性を意識した小中連携教育を推進していきます。

- (1) 組織・計画……組織や計画等を有効に活用、機能させる。
- (2) 学習指導……小中の学びの積み重ねを意識する。
- (3) 生徒指導……小中共通の「学習上の規律」「生活上の規律」を活用し、歩調を合わせて指導する。
- (4) ふるさと学習……地域の特色を生かした学習活動を系統的・教科等横断的に行う。



各中学校区の実態を踏まえた実施計画

※ 詳細については、『小中共通フォルダ>教育総合センター>01-小中連携教育>★R5計画書・報告書』をご覧ください。

	今年度の重点事項	推進委員会・連絡会議	合同研修会、学習指導等	生徒指導、小中連携行事等
南部中学校区	◇連携による豊かな心の育成と基本的生活習慣の確立 ◇「学びの連続」による学力の向上 ◇児童生徒理解の推進	○校区3校校長会 ○校区3校教頭会 ○3部会推進委員会 ・学習指導部会 ・生徒指導部会 ・家庭・地域連携部会 ○部会協議会	○中学校教員による乗り入れ授業の実施(保健体育科、音楽科、外国語科) ○学校訪問研修会、小教研・中教研発表会等の授業参観 ○特別支援学級(知的)の授業参観 ○学習指導・生活指導上の連携表の見直し ○3校合同リモート学習会	○メディアコントロール週間(PTAと連携、定期考査の1週間前:年5回) ○3校合同さわやか挨拶運動 ○小中合同ハートフル標語の募集 ○ハートフルだよりの発行
北部中学校区	◇9年間の学びをつなぐ、支援をつなぐ	○小中連携会議(教頭)毎月25日頃開催	○中学校教員による乗り入れ授業(音楽科:合唱や器楽演奏の指導) ○学校訪問研修会、公開授業、研究会の授業参観 ○小中連携学力向上研修会(研究授業の参観) ○教務主任・研究主任による全国学テの分析結果と課題の共有 ○6年生への「学習の手引き」の配布と中学校教頭等による説明	○「中1ギャップ」解消のための小学校教員による授業参観と懇談会 ○家庭学習週間の設定 ○小中合同挨拶運動 ○小中連携清掃活動 ○生徒指導主事による学習・生活上の規律に関する問題点の共通理解と連続性のある指導 ○不登校等児童の個別連絡会
十三中学校区	◇9年間の学びをつなぐ、支援をつなぐ	○小中連携推進委員会	○児童生徒の学習面での情報交換 ○校内研究授業の参観・協議会 ・学校訪問研修会、校内研究会 ○家庭学習での連携 ○中学校教員による陸上競技指導 ○ICTを活用した授業づくり研修会 ○小中合同研修会(夏季休業中) ・全国学テの結果の共有と今後の対策	○児童生徒の生活面での情報交換 ○ネットルールの取組 ・十三校区ネットルール作成 ・メディアコントロール週間 ○きずなの森整備活動 ○さわやか挨拶運動 ○学校祭への小学生招待
西條中学校区	◇9年間を見据えた主体的・対話的に学びを深める児童生徒の育成	○推進委員会(教頭) ○連携実務者会議(教務主任)	○中学校教員による乗り入れ授業(陸上、合唱、英語) ○三校校内研修会の参観 ○学校訪問研修会、小教研・中教研発表会、学習公開日の授業参観 ○合同研修会 ・小中の学力調査結果の分析等 ・各校のネットルールの見直し等 ○学習規律、生徒指導連携表の見直し	○挨拶運動 ○家庭学習週間 ○ネット、タブレットルールの策定と見直し ○カウンセリング指導員と小6担当教員との情報交換 ○小中合同海岸清掃 ○小学生の中学校授業の体験 ○学習規律、生徒指導連携表の見直し
西の杜学園	◇なりたい自分に向かって、挑戦し続ける子供の育成～自らチャレンジ「わくわくのびのびはきはき」～ 	○ブロック部会(前期:1～4年生・中期:5～7年生・後期:8、9年生) ○アクションプラン部会 ・「わくわく」部会 ・「のびのび」部会 ・「はきはき」部会	○教科担任制による教科指導の充実 ・1～4年生は一部教科、5～9年生は全教科で教科担任制 ・外部講師による1～9年生の発達段階に応じた専門的な歌唱指導 ○教員の連携・協働による9年間を見通した個に応じた指導・支援 ○ICTを効果的に活用した授業研究 ○教科担任やT・Tによる外国語活動・外国語科の充実 ○地域の特色を生かしたふるさと教育の充実	○全校が一丸となったチームによる支援体制づくり ○異学年交流活動 ・気付き支え合い清掃(全校縦割り) ・運動会、学園祭 ・ネットルールの作成、「守ろうネットルール」の呼びかけ ・挨拶運動 ・アウトメディア運動

お知らせ



夏季研修会

教員の資質・能力の向上及び本市教育の充実・発展を図るため、夏季休業中において下記の研修を計画しました。多くの先生方が受講されることを期待しています。

参加申込書は、「学校用取りまとめデータ」を、7月13日(木)までに、氷見市教育総合センター担当者へC4thで提出してください。

研修会名・講師・内容		実施日等	対象者・備考
1	★ 学力向上研修会 「学力向上(算数科・数学科)に関する内容」 講師 国立教育政策研究所 教育課程調査官 笠井 健一 氏	7月28日(金) 13:30~16:00 教文4階ホール	・希望者
2	★ 教育セミナー 「教師に求められる資質・能力、授業改善等に関する内容」 講師 岐阜聖徳学園大学 教授 玉置 崇 氏	8月1日(火) 9:30~12:00 13:30~16:00 教文4階ホール	・希望者 ・午前は小学校、義務前期教員 ・午後は中学校、義務後期教員
3	ふるさと教育研修会 「氷見市立博物館、富山県栽培漁業センター、氷見ラボ水族館の見学等」 講師 博物館学芸員 外	8月4日(金) 13:00~16:45 市内各会場	・新規採用教員 ・今年度氷見市に転入した教員(臨任講師の参加可) ・希望者
4	★ 生徒指導研修会 「生徒指導提要(改訂版)の理解と活用に関する内容」 講師 東京学芸大学 准教授 伊藤 秀樹 氏	8月8日(火) 9:30~12:00 教文4階ホール	・生徒指導主事 ・希望者

★印の研修は「中堅教諭等資質向上研修」における「選択研修」の対象となります。

若手教員研修会等

若手教員等の指導力向上を目指し、児童生徒理解や指導方法等について学び合い、教員同士のネットワークを構築する機会とします。

研修会テーマ・講師・内容		実施日等	対象者
1	テーマ 学級づくり・授業づくり 講師 上庄小学校 校長 坂田 和彦 氏	6月6日(火) 15:30~16:45 教文4階ホール	・小学校教員 ・中学校教員 ・義務教育学校教員
2	テーマ 「特別の教科 道徳」の授業づくり 講師 金沢工業大学 教授 白木 みどり 氏	8月22日(火) 14:00~16:30 教文4階ホール	・小学校教員 ・中学校教員 ・義務教育学校教員
3	テーマ 学級づくり・授業づくり 講師 氷見市立西の杜学園 屋敷 香奈子 教諭 氷見市立北部中学校 三崎 篤志 教諭	12月26日(火) 15:00~16:30 教文4階ホール	・小学校教員 ・中学校教員 ・義務教育学校教員
4	テーマ 「教育論文・教育実践記録を書いてみよう！」 講師 氷見市教育総合センター 教育指導主事	6月15日(木) 15:30~16:45 教文4階ホール	・希望者

おすすめ図書の紹介

—昨年度の年間貸し出しは約180冊でした！—

初等教育資料、中等教育資料、生徒指導、教職研修、指導と評価、白熱する教室「菊池道場機関紙(季刊誌)」等…教育総合センターには、月刊誌等が豊富にそろっています。また、「WEBQUを活用した魅力ある学級づくり」研修会でご講演いただいた河村茂雄先生著の学級づくりに関する新着図書があります。その他、ICT活用や授業づくりに関する図書をそろえていく予定ですので、積極的にご利用ください。

貸し出し・返却等は、棚入れでも、代理の方のご持参でも結構です。「こんな図書を読みたい」等、リクエストがありましたら、遠慮なくご連絡ください。